

数字で見るボランティア常磐会の活動

1982 年

北海道立旭川美術館のオープンとともに、ボランティア常磐会は生まれました。“美術館の事業内容をボランティア精神に基づいて協力・援助し、会員の美術に関する知識と教養の向上を図る“ことが、私たちの基本理念です。今も脈々と続けられているボランティア活動も、2022 年で 40 周年を迎えました。

6 班

会員は、休館日の月曜を除いた火曜から日曜のいずれかの曜日(「班」と呼びます)に属し、月2~3回活動しています。

12 名

各班(曜日)の会員の中から、任期2年の“幹事”が2名ずつ、持ち廻りで選出されます。そのメンバーにより年8回程度の幹事会が開かれ、美術館の展示会を巡っての協力事項、会の運営についての話し合いがなされ、各業務に携わります。また、必要に応じて顧問を任命し、業務や会の運営について、広く助言をお願いしています。

6 セクション

日々の活動は、6つのセクションの幹事たちと会員の尽力により支えられています。この他、監事が会計、監査や会務を司る他、代表、副代表、および必要に応じて任命された顧問の3人が、会の統括や美術館との連絡にあたります。

6 回

会員の全員参加による例会が、年に6回程度開かれます。そこでは、幹事会でまとめられた議案が提出され、検討されます。その他、毎年4月には年1回の総会が開かれます。

75 歳

会員は、70歳未満の方を広く公募し、75歳定年制です。定年後、希望者は1年毎に更新することで77歳まで活動することができます。



ボランティア常磐会

<監事>

会員の親睦や研修に関する業務を司り、研修旅行、忘年会の立案・実施に携わります。また、展示会 PR のため、会員と協力してポスター配布先を探し、配布します。年 2 回の会計監査の業務も行います。

<庶務>

各会期毎の当番表作り、幹事会や例会の記録、総会資料の原案づくりを行います。例会ごとに会報誌「常磐会だより」を発行します。

<会計>

帳簿整理や収支決算業務、取引商店や銀行等との折衝を行います。喫茶コーナー「常磐の樹」で販売するコーヒーチケットも、喫茶担当と協力して作成します。

<常設ミュージアム・ショップ>

受付の横にあるミュージアム・ショップの商品購入、在庫管理、支払い等に携わります。商品のディスプレイも行ないます。



<特設ミュージアム・ショップ>

特別展示の際には、期間に合わせてロビーの一角に、特別展示内容に沿った特設ミュージアム・ショップが設けられます。その際に、商品購入、在庫確認、支払い等を行います。



<喫茶>

喫茶コーナー「常磐の樹」で提供するコーヒー等の飲み物や、パンやクッキー等の軽食をはじめとする、喫茶で使用する物品購入、在庫管理、支払い等を行います。「常磐の樹」で販売するコーヒーチケットも、会計と協力して作成します。



*この他に、代表、副代表、顧問の 3 人が会の統括や美術館との連絡にあたります。

役 員

◇代表幹事1名

◇副代表幹事(幹事・監事を兼任).....1名

◇幹 事

* 庶 務.....1名

* 会 計.....1名

* 喫茶部.....2名

* 売店部.....5名

◇監 事.....2名

12名

※顧 問.....必要に応じて任命

<お問い合わせ・お申込み>

北海道道立旭川美術館内

ボランティア「常磐会(ときわかい)」

TEL 0166-25-2577

ご連絡お待ちしております！

